



1. 平成24年度に実施される統計調査・加工統計の概要

1. 国が実施する統計調査（県統計課を經由する調査に限る）

区分	名称	調査方法					調査対象	調査期日 及び周期	調査目的	公表		
		全 数	抽 出	調 査 員	E メ ー ル	オ ン ラ イ ン				郵 送	期日	刊行物名
労働・賃金	就業構造基本調査		○	○			15歳以上の常 住世帯員	平成24年10月1日 (5年毎)	人口の就業・非就 業の基本構造をと らえる	県—平成25年8月 国—平成25年7月	集計結果の概要 集計結果の報告	
	労働力調査		○	○			15歳以上の常 住世帯員	毎月	就業・不就業状態 の変動をとらえる	国—月報 翌月末 年報 平成25年2月	すべてインターネットに よる公表のみ	
	毎月勤労統計調査		○	○		○	○	毎月	雇用、給与、労働 時間の変動をとら える	県—月報 翌々月末 年報 平成25年6月 国—月報 翌々月 年報 平成25年2月	茨城県の賃金・労働時間・ 雇用の動き(月報) " (年報) 毎月勤労統計調査(月報) " (年報)	
	特別調査		○	○		○	○	1~4人事業所		平成24年7月31日 (毎年)	国—平成24年12月	特別調査報告
鉱工業	工業動態統計調査		○			○	○	指定品目を製造 している一定従 業者規模以上の 事業所	毎月	鉱工業生産の動態 を明らかにする	国—速報 翌月 月報 翌々月 年報 平成25年6月 以降	業種別月報 (確報) 業種別年報
	工業統計調査		○	○				製造業を営む 事業所	平成24年12月31日 (毎年)	工業の実態をとら える	県—平成26年3月 国—平成26年6月	茨城の工業統計表 工業統計表
商業・サービス業	商業動態統計調査		○	○		○	○	卸売業、小売業 事業所	毎月	商業活動の動向を とらえる	国—速報 翌月 月報 翌々月 年報 平成25年6月 以降	商業販売統計速報 商業販売統計月報 商業販売統計年報
企業・経営	個人企業経済調査		○	○				個人企業	4, 7, 10, 1月 (3か月毎)	製造業やサービス 業などを営む個人 企業経営の実態を とらえる	国—四半期報 翌月 (5, 8, 11, 2月)	個人企業経済調査報告 (動向編) 個人企業経済調査報告 (構造編)
家計・物価	家計調査		○	○				世帯	毎月	家計収支の実態を とらえる	国—月報 翌々月 年報 平成25年6月	家計調査報告
	小売物価統計調査		○	○				小売店舗、 世帯等	毎月	商品の小売価格、 サービス料金及び 家賃を調査し、物 価水準の動向等を 明らかにする	国—月報 (主要品目価格) 翌々月 月報 翌月 年報 平成25年4月	小売物価統計調査報告 全国消費者物価指数 小売物価統計調査
衛生	学校保健統計調査		○			○	○	学校	平成24年4~6月 (毎年)	児童・生徒並びに 幼児の発育及び健 康状態を明らかに する	県—速報 平成24年12月 確報 平成25年2月 国—速報 平成24年12月 確報 平成25年3月	茨城県の児童・生徒の体 格と疾病 学校保健統計調査報告書
教育	学校基本調査		○			○	○	学校、 市町村教育委員 会	平成24年5月1日 (毎年)	学校に関する基本 的事項をとらえる	県—速報 平成24年8月 確報 平成25年1月 国—速報 平成24年8月 確報 平成24年12月	茨城の学校統計 学校基本調査報告書



2. 県統計課が単独で実施する統計調査

区分	名称	調査方法					調査対象	調査期日及び周期	調査目的	公表	
		全抽出数	調査員	Eメール	オンライン	郵送				期日	刊行物名
人口	茨城県常住人口調査	○		○			住民基本台帳に記載又は削除した者及び外国人登録原票に登録又は登録証明書を返納した者	毎月	国勢調査の間における市町村ごとの人口及び世帯の移動状況を明らかにする	月報 月末 年報 翌年6月	茨城県の人口と世帯（推計） 茨城県の人口 ※茨城県の人口（町丁字別）
商業・流通	茨城県物資流通調査		○		○	○	製造業、卸売業及び小売業を営む事業所	8月 (調査対象は平成23年1月～12月)5年毎 (次回は4年後)	製造品及び商品の茨城県と他の都道府県間の取引状況を明らかにする	平成25年度	※平成23年茨城県物資流通調査
物価	茨城県消費者物価調査		○	○			小売店舗、不動産管理会社等	毎月	商品の小売価格、サービス料金及び家賃を調査し、物価水準の動向を明らかにする	月報（主要品目価格） 翌々月 年報 翌年5月	県消費者物価指数
経済	茨城県景気ウォッチャー調査		○		○	○	タクシー運転手、レストラン経営者など景気動向に敏感な業種に属する人々	四半期 (6, 9, 12, 3月)	景気に関する情報を収集し、県民生活の視点から見た景気の状態をとらえる	調査月の翌月	※茨城県景気ウォッチャー調査

※は、ホームページ（いばらき統計情報ネットワーク<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/>）による

II. 加工統計

名称	統計作成目的	作成対象年次	公表	
			期日	刊行物名
茨城県県民経済計算	県内の経済活動の実態やその結果を総合的にとらえる	平成22年度	平成24年12月	※茨城県県民経済計算
茨城県県民経済計算四半期速報	県の経済の総量的な動向を早期に把握する	平成23年～24年	四半期報 当該期の3か月後	※茨城県県民経済計算四半期速報
市町村民経済計算	市町村経済を総括的に把握し、産業構造及び所得水準を明らかにする	平成22年度	平成25年3月	※市町村民経済計算
鉱工業指数	鉱工業（生産、出荷、在庫）の動向をとらえる	平成24年	月報 翌々月	※茨城県鉱工業指数（月報）
		平成23年	年報 平成24年9月	※茨城県鉱工業指数（年報）
消費者物価指数	消費者物価の変動を時系列的に測定し、物価の動向をとらえる	平成24年	月報 翌々月 年報 平成25年5月	茨城県消費者物価指数
茨城県社会生活統計指標	県民生活の実態を示す各種統計を体系的に収集、編成し、県民福祉向上の基礎資料を得る	平成13年度～24年度	平成25年3月	※茨城県社会生活統計指標
茨城県景気動向指数	茨城県内の景気の変動をとらえる	平成24年	月報 2か月後	※茨城県の景気動向
茨城県の経済動向（茨城経済四期報）	茨城県内の経済動向を概観的にとらえる	平成24年	四半期報 2・5・8・11月	※茨城経済四期報

※は、ホームページ（いばらき統計情報ネットワーク<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/>）による

震災後の消費行動

～家計調査結果から震災の影響を探る～

茨城県企画部統計課 庶務・企画分析グループ 石井孝一

東日本大震災後の動きについては、鉱工業指数や貿易統計など産業活動にその影響がみられました。また、消費行動についても、震災後、明らかに変化がみられた品目があることが分かりました。家計調査結果から、季節的な要因による購入頻度の変化を避けるため、前年同月の値と比べた品目のうちから主なものをご紹介します。

- ここに掲げた数値やグラフは、震災によって影響を受けたとみられる品目について、平成23年の1年間を対象に、購入頻度の対前年同月増減割合の毎月の動きを表したものです。
- 使用データは、総務省統計局が毎月公表している「家計調査」から、県庁所在市別データのうち、「水戸市」の部分を対象（一部「全国値」）としています。（集計世帯数：95世帯（水戸市））

1 一時、店頭から消えた商品

「ガソリン、水や食料、乾電池などの生活必需品が店頭から消えていた。」…これは、当課が実施している茨城県景気ウォッチャー調査の平成23年3月分調査に寄せられたコメントの一つです。

「電池」は、水戸市の購入頻度が対前年比3月+2.1倍となるなど7月までプラスで推移しました。全国もほぼ同じ動きでした。

震災直後の停電や通電後も計画停電があったことから、懐中電灯やラジオ等防災用品の電源として、購買行動が集中したとみられます。

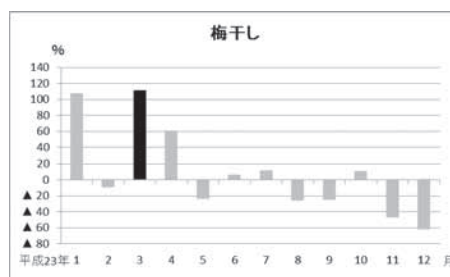
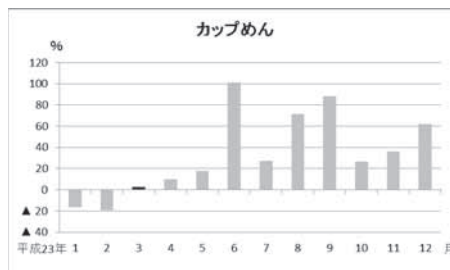
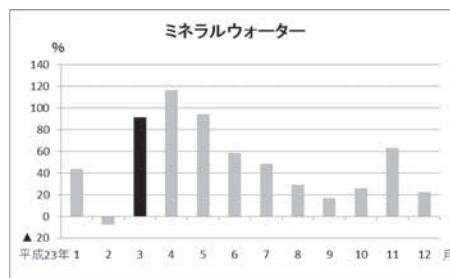
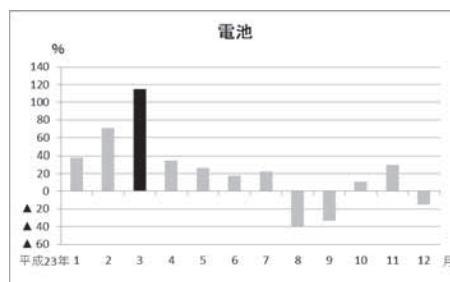
「ミネラルウォーター」は、震災によって断水があったこと等により、購入意欲が増加したとみられます。水戸市の購入頻度は、3～5月は前年のほぼ2倍となったあとも高止まりしています。全国も同様の動きとなっています。

「カップめん」は、非常食の一つとされ、震災以降、購入頻度が増加しています。

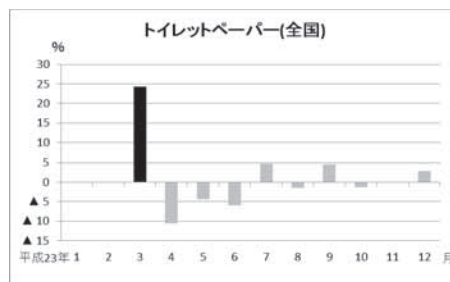
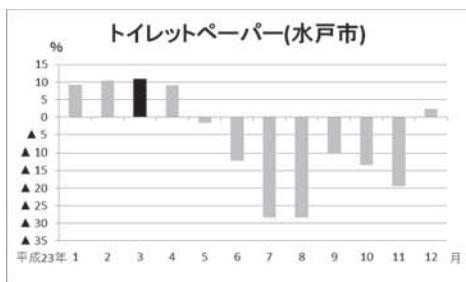
その他、購入頻度が震災発生月の3月に急増した品目は、「即席めん」、「乾燥スープ」、「梅干し」、「ふりかけ」などがあります。

全国の動きをみると、「もち」、「魚介の缶詰」なども3月に急増しています。いずれも、長期保存できる食品となっています。

また、「トイレットペーパー」や「ティッシュペーパー」は、全国の購入頻度は3月のみ突出しました。これは、第一次石油危機後に特定の品物に殺到した消費行動を連想させます。一方、水戸市は目立った動きがみられませんでした。



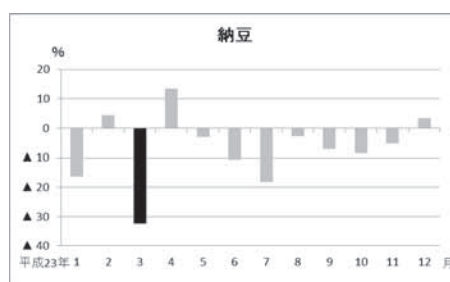
■統計の窓



2 サプライチェーンの寸断

「納豆」の水戸市の二人以上の1世帯当たり年間支出金額は、全国の県庁所在都市の中で福島市に次いで2番目に多くなっています(2009年~2011年平均)。それが3月の購入頻度が前年比30%を超える減少となりました。

その「納豆」は、震災直後、主原料の大豆の在庫は豊富にあったものの、フィルム等包装資材の不足から、極端な供給不足となり、店頭にはわずかな数量しか陳列されませんでした。震災によるサプライチェーン寸断問題の事例として記録しておきたい現象の一つです。

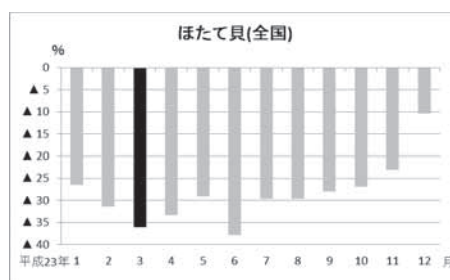
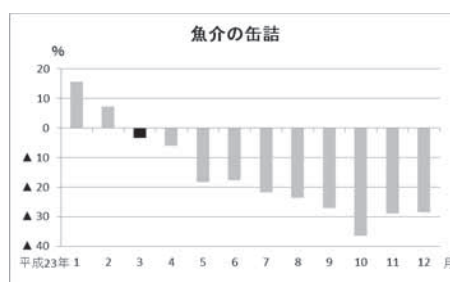
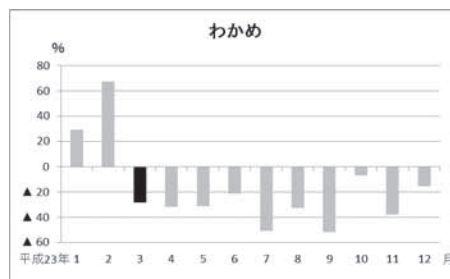


3 産地被災の影響

震災後、海草や魚介類の購入頻度がマイナスに転じました。

「魚介の缶詰」、「魚介のつくだ煮」、「わかめ」は、三陸地域に主な産地や加工施設があります。津波で漁場、加工施設が被災し、供給が減ったため、特売回数も減り、購入頻度が減少したとみられます。

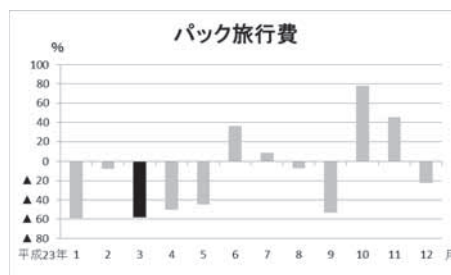
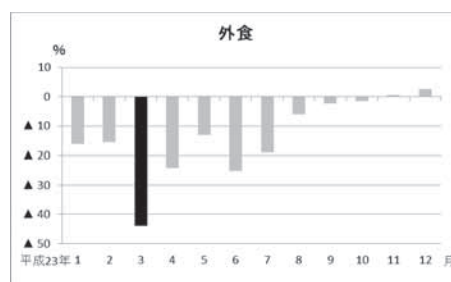
「ほたて貝」(グラフは全国)の購入頻度が減少しています。これは、2010年夏の猛暑に伴う高水温によって陸奥湾内で大量へい死したこと、さらに、東日本大震災の津波で岩手・宮城産が大きな被害を受けたことから、供給不足が続いているためとみられます。



4 自粛ムード

震災後、全国的な自粛ムードから、祭り、宴会、外出等を控える動きがみられました。

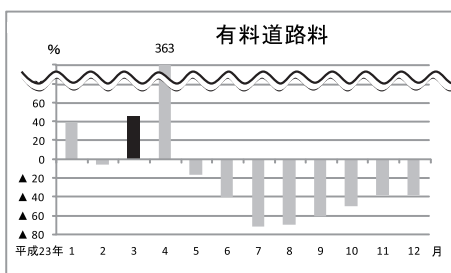
水戸市の「外食」や「飲酒代」の購入頻度でも、8月前後まで前年水準を下回っていました。しかし、その後、過度の自粛は復興を妨げるという意見が出始め、秋以降前年を上回るようになりました。バック旅行費についても、5月までは前年を40%上回る減少となっています。



5 高速道路「無料化」の影響

「有料道路」は、自粛ムードを受け、全国で購入頻度が対前年比で3月36%減、4月18%減となった一方、水戸市の購入頻度は震災発生月の3月中から前年比プラス、4月は+4.6倍となり全国と逆の動きとなりました。高速道路が比較的早く復旧したことと高速道路を多く利用する必要があったためとみられます。

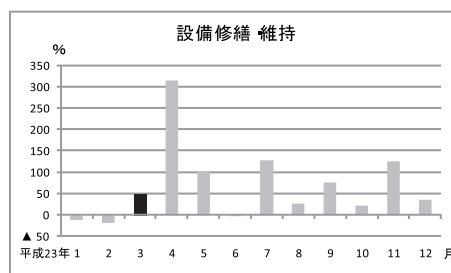
しかし、5月に減少に転じます。6月以降は38%減～71%減で推移しています。東日本大震災の被災者支援を目的に、6月20日から12月末まで、常磐自動車道水戸インターチェンジ以北等対象区間のICを入口又は出口とする走行で被災証明の提示を条件に高速道路を無料化されました。高速道路を利用しても、無料、つまり支出がなければ購入頻度は計上されません。



6 自宅等の修復の動き —整備修繕・維持が急増—

「設備修繕・維持」は、設備材料（障子、ふすま、庭園灯等）、修繕材料（ブロック、ペンキ、壁紙等）、家屋に付帯する工事代、火災・地震保険料などです。

水戸市の購入頻度は3月に前年比5割増し、4月は同4倍超となり、その後も高い水準となっています。

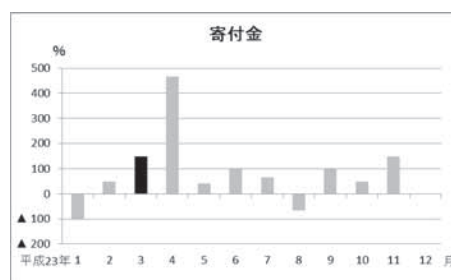


7 絆・支え合い

「寄付金」は募金などを含みます。

水戸市の購入頻度は対前年比3月+2.5倍、4月+5.7倍となりました。その後も、前年の2倍前後で推移しています。

全国は3月+8倍、4月+4.4倍と震災直後に激増し、水戸市と同様の動きとなっています。



資料：総務省統計局、家計調査〈家計収支編〉二人以上の世帯〈詳細結果表〉月次
「第4-1表 都市階級・地方・都道府県庁所在市別1世帯当たりの支出金額、購入数量及び平均価格」から

平成23年度 茨城県統計功労者表彰式の開催について

平成23年度茨城県統計功労者表彰式が、去る2月17日（金）茨城県庁9階講堂において約350名の参加のもと、盛大に開催されました。統計功労者表彰式は、4年前までは、統計大会として開催されてきており、統計功労者の表彰や児童・生徒の統計グラフコンクール表彰などを通じ、統計事業の一層の充実・発展と統計知識の普及啓発を図ることを目的として、昭和34年以来、毎年開催され今年で53回目となります。

表彰式は、主催者である橋本知事からあいさつがあった後、ご臨席された総務省統計局政策統括官（統計基準担当）付統計審査官付国際統計企画官坂井憲一郎氏、茨城県議会総務企画委員会委員長飯岡英之氏からそれぞれご祝辞をいただきました。

次いで、統計調査に長年従事され、功績が顕著な方々に対して、県知事表彰、県統計協会総裁表彰、各省大臣表彰が行われました。続いて、平成23年の春・秋に叙勲・褒章を受けられた方々が紹介された後、茨城県統計グラフコンクールの県知事賞、県議会議長賞、教育長賞、茨城新聞社長賞の表彰及び指導者表彰がありました。全国コンクール入賞者の表彰が行われ、あわせて全国コンクールで部門の第1位にあたる特選を受賞された方々の紹介が行われました。本号の表紙を飾っております「教えてみんなのお手伝い」という作品も、小学校1・2年生が対象の第1部門の特選を受賞され、文部科学大臣奨励賞を受賞された作品です。

表彰式の開催にあたりご協力いただきました関係の皆様、並びに表彰式にご出席されました皆様に対しまして、厚くお礼申し上げます。



橋本知事による主催者あいさつ



統計功労者に対する表彰状授与の様子



茨城県統計グラフコンクール入賞者に対する表彰式の様子